

## 三鷹市立第四中学校 令和5年度【美術】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○個人制作進度の違いは授業での声掛けや全体確認を徹底することで、改善傾向がみられた。</p> <p>○思考、協働、タブレットでの調べ学習と、時間を区切ることで、やるべきことをやるべき時に行う授業展開へと改善できた。</p>	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に学習活動に取り組む姿勢がみられる生徒が多い。</li> <li>○締め切りなどを意識し、段階的に作業を進めていくことができない生徒がみられる。</li> <li>○色彩の基本が身に付き、着彩の技術も向上した生徒が多い。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別にみると制作が進まない生徒が一定数いる。</li> <li>○創造制作活動に生かす能力を伸ばすことが課題である。</li> </ul>	<p><b>【指導方法の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○協働的な学びを課題のどのタイミングで実施するのか。</li> </ul> <p><b>【授業改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の生徒への声かけ（支援）のタイミング、できるだけ周りと関わりながらやる気を引き出せる授業時間の工夫を実践していく。</li> <li>○基礎基本の充実を図り、協働的な学びを実現することにより美術の楽しさを味わわせつつ、生徒の創造的な能力を育成する授業改善を課題ごとに実践していく。</li> </ul>
第2学年	<p>○個々に見る個人制作での遅れは授業の中で意識づけを徹底することで改善傾向がみられた。</p> <p>○考える時間、話し合う時間、調べる時間と時間配分を明確にすることによりメリハリある授業展開を行うことができつつある。</p>	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的に落ち着いて学習活動に取り組める生徒が多い。</li> <li>○自ら発想したことを構想し、表現する能力をじっくりと伸ばすことができた生徒がいる。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題に取り組むのに時間がかかる生徒への対応が課題である。</li> <li>○「いつまでに、どのように作品をまとめていくのか」といった時間内にやるべきことを目的をもって終わらせることができない生徒がいる。</li> </ul>	<p><b>【指導方法の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○時間毎に終了時には、どこまで進めなければならないかを明確に打ち出し、特に遅い生徒にはこまめに声かけを実施していく必要がある。</li> <li>○協働的な学びの時間をその単元に有効なポイントで実施することが必要である。</li> </ul> <p><b>【授業改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間見通しをもてるように簡潔にまとめたものを提示する。</li> <li>○話し合い活動を単元のどこで入れるか改めて見直す。</li> </ul>
第3学年	<p>○ワークシートを発展的に考えられるように工夫することで、自ら考えて力を伸ばしていくことが一定数達成できた。</p> <p>○ノートのまとめをテスト前に実施するなど、目的をもって、学習を進めようとする傾向が見られた。</p> <p>○応用発展的な課題提示までは至っていない。</p>	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な技能取得に関しては、一定数の生徒が基準以上にある。</li> <li>○定期テスト対策のノートづくりでは、生徒の半数は上手くノートを活用して学習を進めている。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学年相応の時間のかけ方ができない生徒が一定数いる。</li> <li>○自らの作品をよりよくするためには何が必要か、自ら考えて工夫する力を伸ばしていくことが課題である。</li> <li>○ノートを学習に役立てて、利用することがない生徒がいる。</li> </ul>	<p><b>【指導方法の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりが表現力を伸ばせるよう、作品鑑賞では心豊かに感じることができるよう工夫が必要である。</li> </ul> <p><b>【授業改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞授業では気づきや発想を作品鑑賞の時間に発表できるよう、ワークシートなどの記入を工夫させる。</li> <li>○生徒自身が主体的に取り組める表現活動を設定し、それらの活動への助言・支援を大切に言葉かけを毎時間、工夫する。</li> </ul>